

質問書に対する回答（令和7年5月29日）

（質問1）

R6年度の各支援金別の月別の受電数と架電数。

（回答）

R6年度の月別受電総数及び架電総数は以下のとおりです。（支援金ごとの内訳は回答しかねます）

	受電件数	架電件数
R6年7月	359	1,251
R6年8月	328	1,039
R6年9月	226	945

（質問2）

想定される、受電と架電のそれぞれ1件当たりの通話対応時間。

（回答）

1件当たりの通話対応時間については、問合せ内容にもよるため、一律の想定はしていません。

（質問3）

R6年度の各支援金別の申請書・電子メール又は郵送の比率。

（回答）

支援金別の申請書の提出方法のたまかな比率は以下のとおりです。

支援金名	電子メールの割合	郵送の割合
医療機関等物価高騰対策支援金	約6割	約4割
高齢者施設等物価高騰対策支援金	約9割	1割未満
障がい施設等物価高騰対策支援金	約9割	1割未満
物価高騰対策支援金（クリーニング事業者分）	約4割	約6割

(質問4)

日次あたりの最大・最小受付件数とその日付。

(回答)

昨年度の日次あたりの最大・最小受付件数及びその日付については回答しかねますが、週あたりの最大・最小受付件数は以下のとおりです。

なお、昨年度の支援金受付期間は7月1日～8月20日です。

- ・最大受付件数：583件（7月8日（月）～7月12日（金））
- ・最小受付件数：262件（7月29日（月）～8月2日（金））

(質問5)

R6年度の繁忙期・閑散期における従事者の人員数、バックアップ体制の人員数。

(回答)

R6年度においては、比較的業務量が少ない時期には10人未満（4人～8人）、繁忙期においては14名の体制で業務に従事いただきました（責任者及び従事者の合計）。

(質問6)

R6年度実施した際の審査不備率。

(回答)

R6年度における不備率は全体で8割程度です。

(質問7)

過去に申請受付で多かった不備の事例。

(回答)

過去に多かった申請書の不備の事例としては、必要事項の記載漏れや、口座名義の記載誤り等が見受けられました。

(質問8)

郵送で申請された申請書類を県に納品する頻度をご教示ください。

(回答)

申請書類（電子メールにより提出された申請書類を印刷したものも含む）の支援金ごとの納品頻度は以下のとおりです。

高齢者施設等物価高騰対策支援金	50件ごとに納品
障がい施設等物価高騰対策支援金	審査完了分を週に一度納品
医療機関等物価高騰対策支援金	審査完了分を週に一度納品
物価高騰対策支援金（クリーニング事業者分）	80件ごとに納品

(質問9)

電子メールで申請された申請書は印刷して紙で県に納品する必要がありますか。

(回答)

電子メールにより提出された申請書は、印刷後に紙で納品していただきます。

(質問10)

交付決定兼確定通知書は印刷された書面を県から頂けるのか。

(回答)

交付決定兼確定通知書は、県で出力し、お渡しします。

(質問11)

封筒は窓付きでしょうか、また封筒のサイズをご教示ください

(回答)

定型サイズの窓付き封筒を県で用意します。

(質問 1 2)

R6 年度の、交付決定兼確定通知書の発送頻度と回数をご教示ください。

(回答)

R6 年度の交付決定兼確定通知書の発送頻度及び回数は以下のとおりです。

- ・ 発送頻度・・・1～2週間に1回程度
- ・ 支援金ごとの発送回数・・・下表のとおり

支援金名	回数
高齢者施設等物価高騰対策支援金	10
障がい施設等物価高騰対策支援金	6
医療機関等物価高騰対策支援金	10
物価高騰対策支援金（クリーニング事業者分）	3

(質問 1 3)

事業開始時に、全ての対象施設・事業所の法人番号や住所、電話番号、メールアドレスなどが記載された一覧を共有いただくことは可能でしょうか。

(回答)

事業開始時に、法人番号や住所、電話番号が掲載された対象施設の一覧を提供します。ただし、一覧にメールアドレスは記載されておりません。

(質問 1 4)

支援金の額は各施設ごとに設定されていて施設ごとに一律ですか。それとも病床数や定員数等、規模に応じて施設ごとに金額が変動しますか。

(回答)

支援金の額は、一律ではなく、定員や規模によって異なります。